

【 鹿児島県 】

「鹿児島県公立高等学校入学者選抜」より

問題

II 次は、ある中学生が「日本の近現代」についてまとめたものの一部である。1～6の問いに答えよ。

長州藩は、江戸幕府の外交政策に反対する尊王攘夷運動の中心となっていた。しかし、1864年に、イギリスをはじめとする四国連合艦隊からの攻撃を受け、敗北した長州藩は、列強に対抗できる強い統一国家をつくるため、幕府をたおそうと考えるようになった。

明治時代に政府は欧米諸国に対抗するため、富国強兵の政策を進めた。1880年代からは軽工業を中心に産業革命の時代をむかえた。重化学工業では、日清戦争後に北九州に建設された官営の①で1901年に鉄鋼の生産が始まった。

日本は1951年に48か国と②平和条約を結び、翌年に独立を回復した。その後も、さまざまな国と外交関係を築いた。経済は、1950年代半ばまでに戦前の水準をほぼ回復し、その後、高度経済成長が1970年代初めにかけて続いた。

※1～4、6は北方領土に関する問題ではないため省略

5 ④に関して、日本とある国との外交関係について述べた次の文の X Y にあてはまることばの組み合わせとして、最も適当なものはどれか。

1956年、鳩山一郎内閣によって X Y が調印され、国交が回復した。しかし、この国との Y X をめぐる問題は未解決のままである。

ア (X 日ソ共同宣言 Y 北方領土) イ (X 日ソ共同宣言 Y 小笠原諸島)
ウ (X 日中共同声明 Y 北方領土) エ (X 日中共同声明 Y 小笠原諸島)

解答

II 5 ア